

# 市民フォーラム：『人生会議 ～よりよく生ききるために～』

○日 時：平成31年2月3日（日） 午後2時00分～4時00分

○場 所：琉球新報ホール

○参加者：約460名

○司 会：多喜 ひろみ 氏（フリーアナウンサー）



司 会：多喜 ひろみ 氏

●創作劇：『 ウンジュが情け 』

●基調講演：『 よりよく豊かに生きるために最期について考える ～自分らしく生ききるための倫理学～ 』

講 師：琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士（倫理コンサルタント） 金城 隆展 氏

●対 談：『 人生会議 』について



開会挨拶：山城 千秋 氏



主催者挨拶：城間 幹子 氏

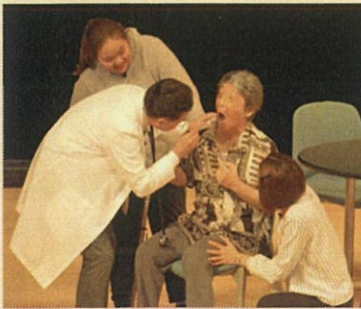


参加者：約460名

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。



創作劇：『 ウンジュが情け 』



琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士 金城 隆展 氏

対 談：『 人生会議 』について





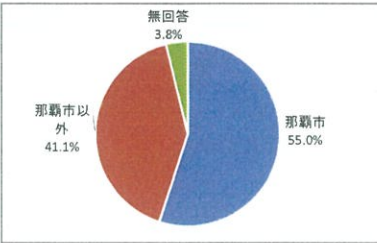
平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
市民フォーラム:『人生会議 ～よりよく生きるために～』 アンケート集計結果

日時:平成31年2月3日(日) 午後2時00分～4時00分  
場所:琉球新報ホール

参加者:460名  
回答者:338名  
回収率:73.5%

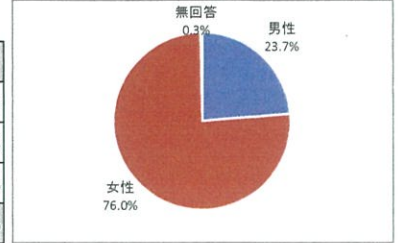
アンケート回答者のお住まいの地域

お住まいの地域	人数	割合
那覇市	186	55.0%
那覇市以外	139	41.1%
無回答	13	3.8%
合計	338	100.0%



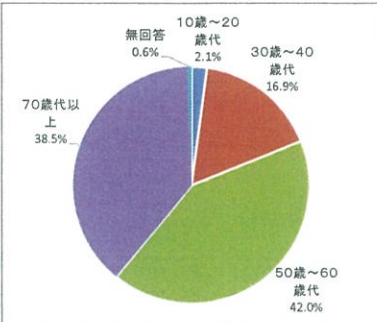
アンケート回答者の性別

性別	人数	割合
男性	80	23.7%
女性	257	76.0%
無回答	1	0.3%
合計	338	100.0%



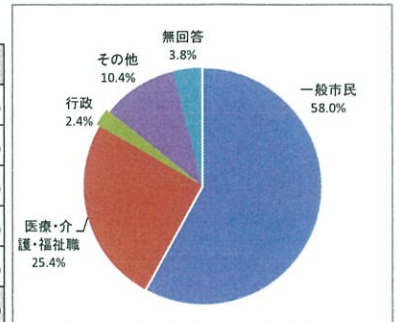
アンケート回答者の年齢

年齢	人数	割合
10歳～20歳代	7	2.1%
30歳～40歳代	57	16.9%
50歳～60歳代	142	42.0%
70歳代以上	130	38.5%
無回答	2	0.6%
合計	338	100.0%



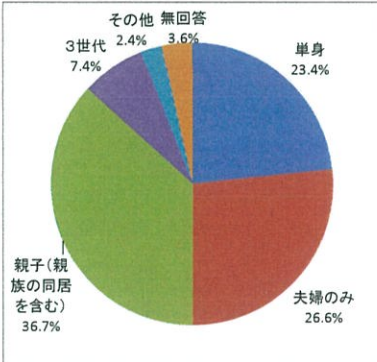
アンケート回答者の職種

職種	人数	割合
一般市民	196	58.0%
医療・介護・福祉職	86	25.4%
行政	8	2.4%
その他	35	10.4%
無回答	13	3.8%
合計	338	100.0%



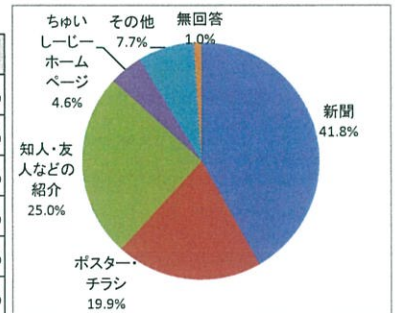
アンケート回答者の家族構成

家族構成	人数	割合
単身	79	23.4%
夫婦のみ	90	26.6%
親子(親族の同居を含む)	124	36.7%
3世代	25	7.4%
その他	8	2.4%
無回答	12	3.6%
合計	338	100.0%



①本日の市民フォーラムを何でご存知になりましたか。

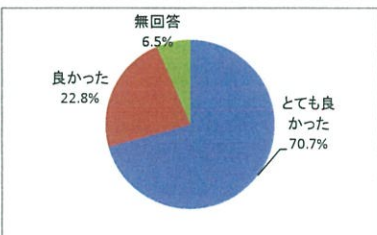
選択肢	人数	割合
新聞	164	41.8%
ポスター・チラシ	78	19.9%
知人・友人などの紹介	98	25.0%
ちゅいしーホームページ	18	4.6%
その他	30	7.7%
無回答	4	1.0%
合計	392	100.0%



※複数回答ありのため、回答数と相違あり。

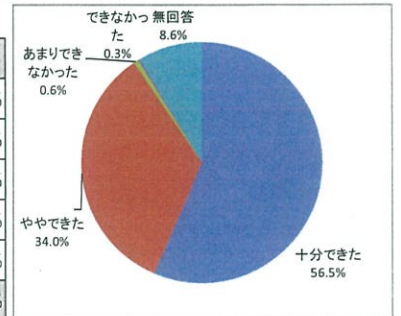
②本日の市民フォーラムに参加されていかがでしたか。

選択肢	人数	割合
とても良かった	239	70.7%
良かった	77	22.8%
無回答	22	6.5%
合計	338	100.0%



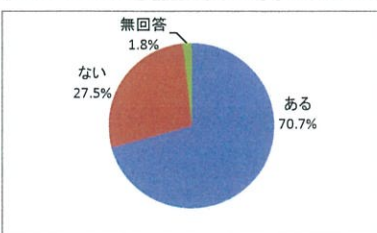
③「人生会議」について、ご理解できましたか。

選択肢	人数	割合
十分できた	191	56.5%
ややできた	115	34.0%
あまりできなかった	2	0.6%
できなかった	1	0.3%
無回答	29	8.6%
合計	338	100.0%



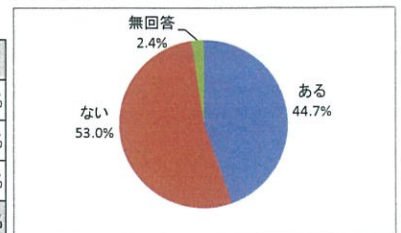
④あなたは、ご自身のこれからの治療やケアのことについて、考えたことはありますか。

選択肢	人数	割合
ある	239	70.7%
ない	93	27.5%
無回答	6	1.8%
合計	338	100.0%



⑤あなたは、ご自身のこれからの治療やケアのことについて、ご家族や周囲の方や医療者と話したことはありますか。

選択肢	人数	割合
ある	151	44.7%
ない	179	53.0%
無回答	8	2.4%
合計	338	100.0%





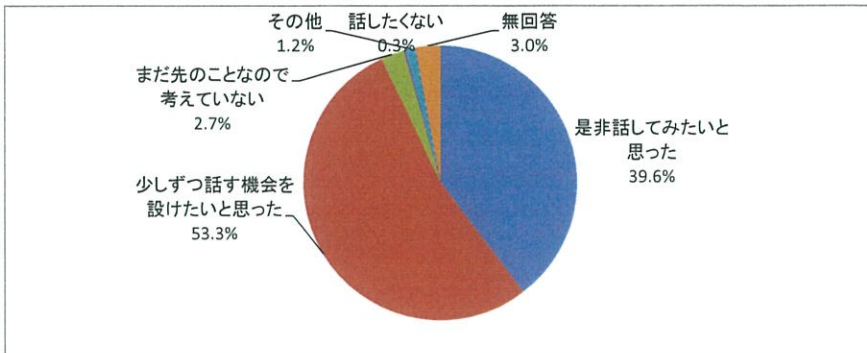
平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
市民フォーラム:『人生会議 ～よりよく生きるために～』 アンケート集計結果

日時:平成31年2月3日(日) 午後2時00分～4時00分  
場所:琉球新報ホール

参加者:460名  
回答者:338名  
回収率:73.5%

⑥本日の市民フォーラム「人生会議」をご覧になり、ご家族や周囲の方とこれからの治療やケアのことについて話してみたいと思いませんか。

選択肢	人数	割合
是非話してみたいと思った	134	39.6%
少しずつ話す機会を設けたいと思った	180	53.3%
まだ先のことなので考えていない	9	2.7%
話したくない	1	0.3%
その他	4	1.2%
無回答	10	3.0%
合計	338	100.0%



⑦本日の市民フォーラム全体を通して、ご意見やご感想等をお聞かせください。

- ・第2、第3の終活も考えておくべきだと思った。
- ・終活、人生会議について普段考えておらず、考える動機・機会になった。大変、有意義だった。
- ・人生会議について今回初めて知ったが、今日のプログラムそれぞれを通して、その必要性と意義について理解できた。構成、内容、人選ともすべて良かった。笑いあり、涙ありで学びにもなった。スタッフの皆様おつかれ様でした。
- ・よりよく生きる！とてもきれいな言葉と思う。もしかしたらよりよくから、すでにどうしようと言えない人生の方は、どういう言葉で現わせるかなと思った。それでも”よりよく”は意味があると思うのですが、深い意味を考えさせられた。クローキングがステキでした。
- ・寒かった。高齢の方も多いので考慮して欲しい。金城先生の内容はとても良かったのですが高齢者には早口で理解が少し難しいと思う。
- ・とても示唆に富むフォーラムだった。今後もこのような催しを数多く持っていただきたい。
- ・相互コミュニケーションや人生会議、近い市包括支援センターの啓蒙指導が今まで以上に必要である。個人の生き方を日々考える習慣が必要である。(高齢者が住みやすい環境、社会保障の充実など)
- ・当たり前を一日を過ごしてはいけないということを改めて気付かせる日になった。
- ・とても良いフォーラムだったので年間3ヶ月に1回ずつ開催しても良いと思う。
- ・素晴らしい講演だった。創作劇も良かった。日々の充実と家族への思いが再認識できた。まずは夫婦で人生会議をしたいと思った。
- ・私自身も60代となり姉兄のこの先を考え不安になることがあった。というのも姉兄が独身なのでこの先は必ず私が関わらなければならないのが現実なので今日の講演会をものすごく身近に感じ学ばせてもらった。姉兄の安心と私自身の安心の為、参考にします。
- ・とても内容が良かった。分かりやすく、高齢者だけではなく子供から大人まで多くの人に聞いていただきたいと思った。
- ・基調講演が大変良かった。再度拝聴したいと思った。ケアマネの必要性について疑問を感じた。包活の箇所を那覇市は増やすべきだ。
- ・創作劇が熱演でとても楽しく、分かりやすかった。基調講演は選択肢が広く大切な家族の最期の時、代弁者となれるよう、日頃から家族や回りの人とコミュニケーションを取ることが大切だと感じた。
- ・最期について話し合うことは特別なことではないという事をもっと周知していく必要があると思う。残される家族のために自分の考えを伝えるという事を知ってほしい。特に高齢の方へ話をしていけたらと思う。公民館などで行えたらいいですね。
- ・先日80歳過ぎになる母が始めて入院した直後のフォーラムだったので色々考えさせられた。内容がとても良く、参考になった。
- ・在宅訪問医療の件、今日は良く理解できた。まだ利用までにはいかないが、いつかは訪れる年齢、シャロンクリニック近隣ですので安心して老いることができる。今は健康ボウリングを楽しんでいる。
- ・全体的にどれも充実した内容だったが、金城先生のお話をもう少し詳しく聞きたかった。
- ・「ちゅいしーじー那覇」という存在が今まで全く知らなかった。介護についての情報が少なく思う。介護の情報がほしい。
- ・創作劇の出演者は本物の劇団の方かと思ったぐらい素晴らしかった。
- ・「人生は選択の連続である」と話されていたのがとても興味深い言葉で大切にしていきたい言葉になった。
- ・人生の最期を見据えるということ、今までは「まだまだ先」、「恐い」などの気持ちがあったが、今後もよりよく生きる、残された家族のためにも、考えることが大切だと思った。今後もこのような機会に参加したい。
- ・介護、終活はまだ早いと思って自分が自分の人生をより良い生活にする為、少しずつ前向きに考えてみたいと思った。



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
市民フォーラム:『人生会議 ～よりよく生きるために～』 アンケート集計結果

日時:平成31年2月3日(日) 午後2時00分～4時00分  
場所:琉球新報ホール

参加者:460名  
回答者:338名  
回収率:73.5%

- ・当たり前にある毎日が、当たり前ではないということ念頭に置いて日頃から感謝してよりよく生きていきたいと思った。
- ・これからの人生について、今こそ生きているうちに最期の死を迎える前に今から一人でも多くの人に伝えていきたいと思った。
- ・金城先生のお話がとても勉強になった。まだ20代なのですが、今だからこそこの話が聞けて良かった。普段考えない人生最期(死)をどう考えるかが大事だと意識させられた。自分の家族、自分自身のことについてこれから少しずつ話したいと思った。
- ・日々の中でちゃんと選択しているか考えさせられた。人生をよりよく生きるために真剣に選択していききたいと思った。残された人たちを支えられるような生き方ができればいいですね。様々なことを考える良い機会になった。
- ・那覇市内の小さな介護施設や公民館などで繰り返し同様なフォーラムを聞かせてほしい。
- ・在宅医療の推進のためには政策支援や地域の強化をしてほしい。2世帯、3世帯居住の推進が在宅医療と終活に繋がると思った。
- ・60代になり終活についてどう考えれば良いか思案していたが、金城先生の話聞き今日から一生懸命生きていこうと思った。
- ・金城先生のレジュメがあったら良かったと思う。「人生会議」の対談は登壇者が多くて話が分かりずらかった。次回に期待したい。
- ・内容が大変参考になった。終活は今日から…谷川先生の詩に全て表現されていた。
- ・「選択」することはプラスと捉えられた。聴くのはまだ早いと迷ってきたが、今日から終活を意識出来てよかったと思う。
- ・在宅死は理想であるが、果たして狭い家や家族の少ない現状で24時間サービスだけで安心して生きられるのだろうか不安です。
- ・人生は自分の意志を持ち、常に選択して生きているのに気づかされた。一つひとつの行動や選択が意味深いものだということ、誠実に真面目に生き、悔いのない生き方をしていこうと思った。
- ・書き残すことがむずかしいと思った。
- ・自分らしい人生の最期について真剣に考えたい。
- ・自分にどのような選択があるのかを知りたい。通院やプランの選択に何が用意されているのか。
- ・4年前に主人を亡くして、介護2ヶ年やって来て認知症になり面倒を見て来たので、それを思い出し体験した今日のお話を聞いて、とてもこれからの人生の参考になった。ありがとうございました。
- ・訪問看護の宮城愛子さんの仕事を通して体験を話して下さった場面、感謝してあの世に逝くんだよという言葉に感動し涙が出てきた。
- ・倫理、終活の課題が重要であることが大変参考になった。よりよく生きる為に参考にしたいと思った。
- ・対談での中間先生や宮城愛子さんの実例の話が聞きたい。それに対する問題と解決策も聞きたいと思った。
- ・市民フォーラムを公民館単位(地域包括支援センター)などで実施して身近なものにしてほしい。
- ・各サービス(在宅医療)は、どこに申請して、どのようにして提供されるのかを具体的に示してほしい。
- ・金城隆展先生の講話に感動した。故人から何を受け継いだかを意識して見る。そこから受けた愛情に感謝する。それは今の自分を見つめることになる。そして前を向いて生きていけるのだと思った。本当に有難うございました。
- ・今回のテーマは現在の私が直面している問題なので、生の声は非常に理解しやすく終活の手助けになった。
- ・子供の後押しの出来る親でありたいと思った。今日から心を込めて向き合って語りあっていけたらと思った。
- ・寸劇の内容は面白かったけど、ジェンダーバイアスバリバリでしたね。介護する人女性もう少し考慮できませんかね。最後にありがとうと言って死にたいは胸に響いた。行政と医師会がタッグを組むとこんなにすごいことになるんですね。すばらしい。金城先生の話も良かった。まさかグリーフまで聴けるとは思わなかった。
- ・沖縄市からの参加でしたが大変良かった。沖縄市でもこういうフォーラムが開催されたらもっと在宅医療について認識が深まると思う。
- ・創作劇、金城氏の講演、各専門家のフォーラムとても良かった。終活は「日頃の対話」の積み重ねですね。実践します。
- ・金城先生の話、考えさせられました。創作劇もおもしろかった。みなさんととても良かったのですが、玉井先生、役者さんにもなれそう。笑えて良かったです。対談、いろいろな職種の方のお話が聞けて(それぞれどのようなことをしていただけるか…etc)良かったんですが、会場からの質問コーナーが設けられるとより良いのかなと思った。
- ・漠然としている事が整理された思いです。構えず自然体で連れ合いと子供達とも話し合いの場を設けないといけないと感じております。
- ・毎日の「選択」を大切にしようと思った。その選択が人生良かったと感じられるように。
- ・高齢の両親のこと、介護について色々な仕組みを勉強していきたい。
- ・創作劇がとてもおもしろかった。時間通りに終わればベストだったと思う。
- ・人生会議を無くせる文化を作りたいと言う先生の言葉に共感した。玉井先生の演技が最高でした。
- ・創作劇から基調講演、対談と2時間という限られた時間で構成されており、飽きずに参加できた。笑いあり、深く考えさせられる講演あり、在宅サービスの紹介あり、人生の最期や、親の介護を考えるヒントや情報が得られた。ありがとうございました。
- ・今ある毎日をあたりまえの事として過ごすのではなく、一日一日を大切に、そして周りの人達へ感謝しながら過ごしていきたいと思う。



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
市民フォーラム:『人生会議 ～よりよく生きるために～』 アンケート集計結果

日時:平成31年2月3日(日) 午後2時00分～4時00分  
場所:琉球新報ホール

参加者:460名  
回答者:338名  
回収率:73.5%

- ・よく生きる為の終活・人生会議の大切さが理解できた。分かりりやすく工夫されていて充実した時間を過ごすことができた。
- ・創作劇がとても良かった。明るく楽しい感じで話を聞いた。講演内容がTVや芸能ニュースもあって分かりやすかった。
- ・在宅医療と介護という高齢者が対象の話ばかりだなと思った。在宅医療も介護も人生の最期も高齢者だけの問題ではないと思う。子供のこと、障害者のことも考えてほしいと思った。
- ・在宅介護をしている両親の気持ちを大切にフォーラムに参加したが、自分のことを子供にということが私の終活だと気付いた。
- ・毎日、生活していく中で小さな・大きな選択を大事に積み重ねていきたいと思った。とても勉強になった。
- ・杖を使われている方や伝い歩きをしているお年寄りの方の席は、1階に案内できる様な仕組みがあった方が良かったと思う。
- ・よりよく豊かに生きるために家族と話し合い、いろいろな選択肢がある事、1日1日を悔いのないよう大切に生きていきたいと思った。
- ・自分の両親と話そうと思う。今日のフォーラムに参加して勇気が出ました。有難うございました。
- ・余命をどう生きるか、選択の大切さを学べた。金城隆展先生の「より良い社会を残したい」という言葉に感銘を受けた。
- ・死後も残った人を支えることができる。しかし、そこにはその人の生前の影響が必要。その為には相手に自分が大切にしていることを話していくこと。人生は選択の繰り返し、そこに倫理がある。とても参考になりました。
- ・在宅医療を継続発展されるためにも介護する側(スタッフ・家族)の負担軽減の施策が必要。365日24時間対応できる夜間センターの設立、予定外ケアマネ対応時への報酬整備、週ごとの労働時間確認・管理体制、ACP相談医の報酬などブラックな仕事にしない。
- ・話が早口で流れるように話すので一部聞き漏らすこともあったが映像が入るので良かった。人生会議は専門職の訪問がある事を知った。
- ・金城先生のよりよく生きる為に、今この瞬間から子供や孫に伝えたいと思い、少しずつでも語り合いたいと思わずにはいられません。感謝してます。素晴らしいお話をありがとうございます。
- ・自分の母親も82歳、残り少ない人生を人生会議を通じてより良い終活に向けて話し合う機会を持っていきたいと考えました。
- ・マイクの音を高齢者にもちゃんと聞こえるようにもう少し大きくしてほしい。
- ・友人と会うと終活始めたよと話が聞こえてくる。生きているのが当たり前とと思っているとついつい、なァなァに過ごしてしまう。体調を崩した時、いところが亡くなった時、ふと考えた時これでいいのかと思ひめぐらす毎日。金城先生のお話をきいて毎日意識し思いながら周りの人との縁を大切にしていきたい。
- ・自分の親と向き合い日々の生活を大切にしたいという気持ちになった。自分の今の役割を確認できた。母親の大切な時間を過ごします。
- ・金城先生の話しの中で子供達や周りの人々との今の付き合い方が死後も続くような話に受け取ったが、孤独な年寄りが増える中それはないと思った。
- ・今の自分の大事な気付きを認識することができた。金城先生もとても素晴らしかった。また機会がありましたら家族と一緒に聞きたい。
- ・誰もが理解しやすい内容だったと思う。この機会に少しでも多くの方が自分の生き方、自分の最期について意識するようになると良い。
- ・人生会議12名の方々の情熱のこもったお話、詳しい説明、理解しやすい良いお話をお伺いできまして感謝申し上げます。
- ・親に対し今は元気だから大丈夫と思っていたが、元気で意思表示ができる「今」こそお互いの為に人生の話をしないといけないと思う。
- ・普段から今後の生き方について考えるようにしていきたい。まだまだ先の事と考えず、意識して後悔のない生き方をしていきたい。
- ・金城隆展先生のお話で大変、感銘を受けた。自身の最期を迎える時に後悔のないようによりよい選択をしなければとは考えていましたが、旅立った後の視点は目からウロコだった。
- ・私は現在60代ですが小3の時、祖父の死を経験してから死について考え始めました。死の恐怖から、それから逃れるには?など、そして一生懸命生きる事とは?と色々考えながら今日に至っています。介護については義父母について体験中です。感謝の思いを本人に伝えながら100歳の義父に接しているところです。
- ・今を生きるということを再確認できて良かった。終活の中で、①事前エンディング、②よりよく生きる、③残された人の中心、の3点の重大を知って良かった。
- ・家族、友達、兄弟姉妹との関係を大切にすること。お年玉でごきげんをとっている祖父母を反省し、私という姿を少しでも思い出すようなふれあいをしようと考えさせられる人生会議でした。
- ・すごく良かったので、TVでも特集してほしい。
- ・看護師です。看護協会に貼ってあったポスターを見て金城先生の講演があるので興味があったため参加しました。
- ・より良い選択の積み重ね。終活は今から。20歳になる孫が道を迷っているので、向き合っていこうと思う。
- ・「よりよく生きる」すばらしいフォーラムでした。第三の終活もしっかり勉強していきます。話すこと伝える事ですね。
- ・最後のパネルディスカッションは、多分きれいごとだなと感じた。3人の親を看取った者の一人として介護保険そのものに様々な疑問を持っています。



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
市民フォーラム:『人生会議 ～よりよく生きるために～』 アンケート集計結果

日時:平成31年2月3日(日) 午後2時00分～4時00分  
場所:琉球新報ホール

参加者:460名  
回答者:338名  
回収率:73.5%

- ・当たり前の毎日の生活を振り返る。限られた命であるということから一日一日を大切に、自分らしい選択をしていきたい。
- ・逝く者は残る者に対して感謝といたわりが伝わる。成長させる説得力を持てる人間性が大事だと思った。
- ・今まさに体力・知力共に考える時に来ている。税金を大事に使う為にも65歳から積極的に予防できる体操教室等を開所してほしい。
- ・一日一日を大切に生きていかないといけないと思った。家族の方にも感謝の気持ちで生きていきたい、人生楽しかったと言えるような人生をむかえたい。どういう形でも社会に貢献できる生き方を考えていきたい。
- ・高齢市民としては、頼られるところがたくさんあるという事は心強いと思った。24時間の対応に感謝します。
- ・現在60代です。まだ介護される年齢ではなく今、母の介護をしています。介護の仕組みや利用の手続きなど分かりやすく説明して下さり参考になった。よりよい人生の選択を積み重ねていきたいと思う。
- ・劇の「ウンジュが情け」の主人公は母を見ているみたいに笑って見ていました。日々を大切に一生懸命生きることの意味を少しは知ることが出来ました。今、母は週5でデイケアに通所して生き活きて人生を楽しんでいる様子です。
- ・今まで終活とは自分自身の身じまいの事と思っていたが、どう生きるか周りの人への優しさ、気配りに感謝しながら生きていきたい。
- ・すばらしい介護連携のもとによりよい生活が送れることが心強く思うとともに人生100歳時代、どう生きるか考えさせられた。
- ・次回のフォーラムでは揉め事の1つになる財産・相続等も講演の構成として入れてくれたらありがたいです。
- ・日々の生活をなんとなくもんもんと過ごしてきました。今日一日の生き方が大切だということを知り、感謝の気持ちを常にもち優しいおばあちゃんて生き、子供達に私が残すものを知りました。ありがとうございます。
- ・残された人が生き続けることを支えることが出来るよう、日々注意深く選択をして準備をしてよりよく生きていきたいと思った。
- ・母と姉と3人で足を運びました。日ごろから子供達に伝えている「人生は選択の連続である」ということをこの場で改めて学ぶことができました。創作劇も最高でした。金城先生のお話を聞き、親子で涙でした。本当にありがとうございました。
- ・身近な人にも真摯に向き合うことの大切さを教えてくれました。
- ・訪問介護の必要性、その有難さを教えてもらいました。在宅医療を行政がもっと考えていただけるようお願いします。
- ・多喜さんの優しい語り口の司会が良かった。
- ・私も初めて老人施設で働いていますが、大変よくわかるフォーラムでした。今後いろいろな学んで働きに役立てていきたいと思った。
- ・終活について考え方がいろいろあるということがわかった。今まで、終活は死の準備と考えていた。
- ・第3の終活、意識しながら少しずつやってみたい。人生会議・家族会議、始めてみようと思う。在宅医療、いろいろ情報収集して活用できるといいなと思った。良い企画をありがとうございました。
- ・残された人の為に何の役に立てるのかを考えて生きることが、自分の生きがいにつながっているのだと思った。自身のために、残される人のために、第3の終活を今日から機会を持っていきたいと思った。
- ・医療介護について、たくさんの選択肢があることを知らない方も多いと思うので、普及に努めていきたいと思う。
- ・倫理の考え方について視野が広がった。「選択肢」である日々その積み重ね。よりよく生きるために今日から第3の終活に向けて行動していくようにしたい。亡くなった母の生き方はまさに第3の終活をしていたんだなと今は感じる事が出来た。
- ・私は現在86歳、今日まで漠然と生きてきたような気がします。今日からは1日1日を大切に生きていこうと思います。
- ・介護職をしております。通所への声掛け等(行きたがらない利用者)へのヒントになりました。また実際、自分の母は在宅で通所へ通っていますが、本人の想いやより良いケアを考えていくことの大切さを感じました。たくさんの専門職の方に支えられている有難さ、その連携の大切さに有難いと思いました。介護を受ける人だけでなく介護をする人の為だと。
- ・在宅医療は本当に無理なくできるのでしょうか。老親を在宅でとなると子世代が仕事と介護を両立できるのでしょうか。住宅事情とか介護離職につながり、本人が将来困ることになりませんか。
- ・日々を大切に生き、家族とよく話し合い、楽しい人生だったと言える生き方をしていこうと心に誓いました。
- ・分かりやすい内容で理解につながりました。このフォーラムをたくさんして頂けると地域医療に繋がると思う。
- ・これまでこういうフォーラムなどなかったように思いますが、自分や家族の最期、生き方を考える機会になり、ありがたかったです。